

我がマチ対抗3本引き大会ルール

「3本引き」とは、北海道厚真町発祥のウィンタースポーツ。滑りやすい雪の上で行う綱引きです。選手たちはスタートの合図で3本の綱をめがけて走り出し、そのうち2本の綱を自チームのゴールラインに引き込めば勝ち。どの綱に人数を多く配置して勝ちに行くか、あるいはどの綱を捨てるかを、相手の配置を見ながら瞬時に判断して引かなければなりません。ルールはシンプルながらも、体と頭を使う競技です。

※[あつま国際雪上3本引き大会公式webページ](#)より

今回は、この「3本引き」を、プレミストドーム アリーナに人工芝を敷いて行います。

《参加資格》

- ・チームメンバー全員が代表する市町村に居住していること。
- ・チームメンバーは女性1名以上を含む8名～16名であること。
- ・代表者は20歳以上であること。
- ・参加チームは8月23日(土)、24日(日)の両日に参加すること。
ただし勝敗により、24日(日)に試合がない場合もあります。
その際は参加する必要はありません。
- ・交通費・宿泊費は出場チーム負担となります。
- ・大会参加費無料（大ほっかいどう祭 入場料も不要）

《ルール》

地域を代表して出場し、その母体は問わない（参加者は全員同一自治体内在住）

選手は1チーム16名まで登録できる。代表者は20歳以上であること。

1試合3セットのうち、2セット先取したチームの勝利とする

1セットは40秒とする

1試合の選手は男女混合8人（女性1名以上）。

両チームの主将がジャンケンを行いコートエンドを選ぶ

両チーム8名ずつスタートラインに整列する

主審のホイッスルの合図により選手はスタートラインから綱まで移動する

3本の綱に対して、選手の配置は自由とする

3本の綱のうち、2本を引いたチームの勝利とする

綱の全てを自チームのゴールラインを越えるまで引いたとみなさない

40秒以内に勝敗がつかない（綱の全てがゴールラインを超えない）場合は綱を多く引いた方の勝利とする

《審判》

主審1名と、各綱に副審1名ずつが付く（計4名）

各セット開始前に服装・装備・靴底の確認およびロープの位置を確認する

スポーツマンシップに反する行為（競技中の飲酒、相手チームに対する暴言・誹謗・中傷、ゲーム進行を故意に遅延させる、等）に対しては警告・反則・退場させることができる

《服装》

ケガ防止のため必ず主催者用意のヘッドギア（帽子の上も可）を着用し、手袋も着用すること
また長袖・長ズボンを着用すること。運動靴の着用が必須でスパイクのついた靴は禁止とする

《反則》

スタートの合図の前にスタートラインから出るとフライングとなり再スタートとなる
フライングを2回繰り返すとそのセットは負けとする

綱の中心を越えて相手側の綱を持ってはいけない

ロープを体に巻き付ける行為は禁止とする

選手が綱を持ったままサイドラインを出た場合はそのセットは負けとする

審判が危険と判断した場合は試合を中断することができる

《その他》

試合終了時には両チームゴールラインに整列し挨拶すること

応募チーム多数の際はイベント主催による抽選にて出場チームを決定する

対戦の組み合わせはイベント主催による抽選で決定する

出場1チームにつきSTVアナウンサーが1人応援アナウンサーとして配置される

【優勝特典】 賞金10万円および出張お絵かきですよ

【2位・3位】 お住まいのエリアをどさんこワイド179でご紹介

参考図面

大会公式コートサイズ

※今回の我がマチ対抗3本引き大会では、綱と綱の間の距離が4mとなります。

下記コートサイズとは若干変更がありますのでご承知おきください。

